



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和6年7月26日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
消防課	予防保安係	丹下	内線2886 直通 058-272-1122 FAX 058-278-2549

熱中症(疑いを含む)による救急搬送人員数等の状況について(速報値)

岐阜県内における本日0:00~16:00までの間の熱中症(疑いを含む)による救急搬送状況の速報は下記のとおりです。

なお、救急搬送の状況は、最新のデータを使用していますが、あくまでも速報値であるため、後日修正することもありますのでご了承ください。

また、これまでの搬送件数については、岐阜県ホームページをご覧ください。

記

1 本日の搬送者数

消防本部名	搬送人員 (人)	年齢区分(人)						傷病程度(人)					
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
岐阜市消防本部	4	0	0	1	1	2	4	0	0	1	3	0	4
可茂消防事務組合消防本部	6	0	0	2	2	2	6	0	0	5	1	0	6
各務原市消防本部	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1
多治見市消防本部	2	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	2
恵那市消防本部	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
瑞浪市消防本部	2	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1	0	2
不破消防組合消防本部	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
海津市消防本部	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1
郡上市消防本部	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
計	19	0	0	3	6	10	19	0	1	11	7	0	19

本年度累計数	788	1	8	84	222	473	788	4	25	358	401	0	788
--------	-----	---	---	----	-----	-----	-----	---	----	-----	-----	---	-----

(調査開始日(4月29日)から本日16:00までの累計数)

2 中等症以上の傷病者の状況

傷病程度	性別	年齢	状態	発生市町村	事案の概要
重症	女性	91	意識朦朧 全身脱力 倦怠感	多治見市	14時12分入電。 歩行中に脱力、倦怠感及び意識朦朧となり倒れているところを、通行人が発見し、救急要請したもの。
中等症	男性	82	全身倦怠感	岐阜市	9時39分入電。 自宅で倒れ、起き上がれなくなっているのを家族が発見し、救急要請したもの。
中等症	男性	95	脱力感	美濃加茂市	11時6分入電。 前日からぐったりしており、自宅で様子を見るが症状に改善がないため、家族が救急要請したもの。
中等症	男性	82	右肘と左膝の痛み	坂祝町	12時52分入電。 12時頃から自宅の玄関で転倒し動けなくなっているところを、デイサービス職員が発見し、救急要請したもの。

中等症	男性	61	発汗	白川町	12時11分入電。 単独事故を起こし、警察官とともに現場検証中、体調不良と認められたため、警察官が救急要請したものの。
中等症	男性	16	両大腿部のこむら返り	可児市	14時6分入電。 8時頃野球の練習試合中に両大腿部のこむら返りを発症したため、学校の教員が救急要請したものの。
中等症	男性	15	嘔気	可児市	14時20分入電。 8時頃野球の練習試合中に気分がすぐれず嘔気を訴えたため、別の傷病者の救急にあたっていた先着救急隊が救急要請したものの。
中等症	女性	47	嘔気 発汗 倦怠感	各務原市	13時44分入電。 路上にて気分不良となったため、本人が救急要請したものの。
中等症	男性	73	意識不明 発熱	恵那市	13時49分入電。 墓地にて意識が無く倒れているところを、通行人が発見し、救急要請したものの。
中等症	男性	85	背部痛 冷感	瑞浪市	11時18分入電。 山中での伐採作業中に倒れたため、同僚が救急要請したものの。
中等症	女性	48	目眩 手足のしびれ	海津市	12時18分入電。 午前中の農作業を終了して帰宅後、目眩と手足のしびれが出たため、本人が救急要請したものの。
中等症	男性	76	発熱	郡上市	12時25分入電。 路上を歩行中に倒れたところを、通行人が発見し、救急要請したものの。

3 関連報告事項

4 これまでの搬送件数

岐阜県ホームページ「県内における熱中症の救急搬送者数の状況」をご覧ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/6398.html>

※岐阜県HP上で、「熱中症」と検索してもご覧いただけます。



★熱中症にかからないための注意点

- ・熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどがが必要です。
- ・特に、高齢者は温度に対する皮膚の感情性が低下し、暑さを自覚できにくくなるため、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。

(年齢区分について)

新生児	生後28日未満
乳幼児	生後28日以上満7歳未満
少年	満7歳以上満18歳未満
成人	満18歳以上満65歳未満
高齢者	満65歳以上

(傷病程度について)

死亡	初診時において死亡が確認されたもの
重症	3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	重症または軽症以外のもの
軽症	入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病の程度が判明しないものなど

(留意事項)

- ・搬送状況は、各消防本部が熱中症(疑いを含む)と判断したものを県が取りまとめたものです。
- ・県及び消防本部では、医療機関へ搬送した後の傷病者の状態等の個人情報、本集計の対象外であるため収集していません。